

### 卓話 『広がる大リーグへの道』 スポーツジャーナリスト 山田雄一様

#### ◆会長挨拶

本日のゲストを紹介させていただきます。元朝日新聞スポーツ部長の山田雄一様です。ようこそお越し下さいました。後ほど永年スポーツ報道に携わったご経験から卓話を頂戴致します。例会担当は公共イメージ向上委員会となりますので、宮下委員長さん宜しくお願い致します。

14日・15日、1泊2日の日程で、旅学・酒食学・写学の合同で大阪の旅へ参加させて頂きました。バスでの移動でしたので、車中から思う存分美味しいお酒を頂き、串カツやカニすきなど食い倒れの大阪を楽しませて頂きました。道頓堀界隈もインバウンドの影響で多くの外国人であふれ、8割近くが外国人だったように思います。さすが2日目の吉本新喜劇に外国人の姿はありませんでした。企画を頂きました各学長さんに御礼申し上げますと共に、ならびに添乗業務をさせて頂きました宮下さんにお詫び申し上げます。

先週18日には思いがけずの積雪となりました。時期的には「なごり雪」となり、春の訪れを感じる季節となりました。昭和の生れですので、なごり雪と聞くとイルカが歌った曲を思い浮かべます。春の卒業・進学・就職シーズンと重なり、なぜかほろ苦さを思い起させる曲です。私はなごり雪がはやった1975年（昭和50年）、16歳紅顔の美少年でしたが、ほろ苦い思い出があったのかわか思い出せません。

18日には恒例の2クラブ合同夜間例会が、山崎ガバナ一補佐をゲストに岡谷RCの主管で行われました。アトラクションでは、地元で活躍されている和泉家志ん治師匠の落語と和泉家ピースさんのマジックショーで両クラブの懇親を深めました。

お願いごとですが、2600地区から大船渡大規模山林火災に対する義援金の協力要請がありました。後ほど募金箱を廻しますのでご協力をお願い致します。

◆ゲスト スポーツジャーナリスト 山田雄一様

#### ◆幹事報告



・大船渡大規模山林火災に 対する義援金について  
※募金箱回覧

#### ◆次年度幹事報告

・4月6日 13:00 ~ 地区研修協議会 オンラインにて

#### ◆委員会・同好会報告

《旅美学・酒食学・写学》

- ・21名参加+大阪にて1名合流 無事行程通り
- ・車中にて 次年度の学長決定 引き続き河西一彦会員

#### ◆卓話

◆「広がる大リーグへの道」 山田雄一様

担当：公共イメージ向上委員会

#### 【略歴】

1951年（昭和26年）、岡谷市生まれ、諏訪清陵高校、早稲田大学卒業。

朝日新聞社で主にスポーツ報道の記者、デスク、部長として従事。

60歳定年の2011年（平成23年）からシニア契約記者で飯田支局長。

2019年（平成31・令和元年）に49年ぶりで岡谷へUターンし、在住。

2021年（令和3年）から長野日報でコラム「語ろうスポーツ」連載中。



このたび、「広がる大リーグへの道」の題で例会の卓話を担当させていただきました。貴重な機会を与えてくださったことに感謝を申し上げます。

さて、東京ドームでの3月18、19日の開幕シリーズは、ロサンゼルス・ドジャースの大谷翔平、山本由伸、佐々木朗希、そしてシカゴ・カブスの鈴木誠也、今永昇太の5選手による凱旋試合の趣を帯び、熱狂の渦の中でドジャースが連勝しました。

今季の開幕時でメジャー契約の日本人選手は13人。傘下のチームに所属のマイナー契約が3人。その1人が東京・桐朋高校からオークランド・アスレチックス入りした森井翔太郎選手です。183センチ、89キロの右投げ左打ち。投げては最速153キロ、打っては高校通算45本塁打、ショートも好守の逸材。国内のプロ野球球団にはドラフト指名されても入団しないと断りを入れ、獲得を希望した大リーグ9球団の中から二刀流への理解度の高さと球団を選んでいる。契約金は日本円で2億3600万円といわれています。

大谷は2013年の岩手・花巻東高校卒業時に渡米を希望しながら、ドラフトで強行指名した日本ハムの5年間を経て2018年にロサンゼルス・エンゼルスへ入団。森井は大谷の描いたプランを実現させ、ピラミッド最下層のルーキーリーグから5年後の大リーグ昇格を目標にしています。大リーグ各球団は日本国内にスカウトを常駐させる時代。同じパターンの米国挑戦は今後のトレンドになっていく可能性があります。

大谷の大活躍は周知の事実ですが、私は2つ、腑に落ちない点を指摘したいです。

1つは、19日のカブス戦での今季第1号。本塁打かフェンス最上段での跳ね返りか微妙でした。ところが、大谷は「確信歩き」で走り出していない。ビデオ判定で本塁打と認定されましたが、フェンス直撃との認定だったとすれば、二塁打コースの一打。しかし、あの走塁ではおそらくシングルヒットにとどまったでしょう。これは罰金ものです。

もう1つは、2023年秋にドジャースとの間で、10年間・総額7億ドル(約1015億円)の97%を11年先以降に後払いとした契約。これで浮いた分を他の選手獲得資金に回してもらいチーム強化を、という狙いで、恩恵は山本らの入団につながった形です。30球団の戦力均衡を促し、一部の(ドジャースのような)金満球団が幅を利かせるのを抑える目的で各球団の全選手年俸総額に厳格な上限を設けた制度の理念に背く行為といえ、大いに疑問です。抜け穴防止のため、制度の見直しをすべきとの声も聞かれます。

日本選手の大リーグ入りは、1964年からサンフランシスコ・ジャイアンツでプレーした村上雅則投手に始まり、70人を超えました。より高いレベルの野球挑戦は当然の流れです。そして、現役の終盤、あるいは引退後、日本へ戻る人がいれば、アメリカ市民になりきる人もいます。もちろん、それぞれの判断であってよいのですが、できれば本場での貴重な経験を何らかの形で国内球界に還元してもらいたいと願っています。

# 語るスポーツ

山田 雄一

## 大谷契約への疑問符

10年間・総年俸7億ドル(約101.5億円)の97%後払い方式には疑問符を付けざるを得ない。「勝つことが僕にとって一番大事なこと。日本時間15日の入団記者会見で大谷は言い切った。とにかく勝ちたい。ワールドシ

そして、勝つために自分できる貢献として、年俸の後払いを自ら提案した明かす。しかも、最初に代理人提示したのは97%ではなく100%、いわば「無給働き」を意味していたとされる。大リーグの大契約では後払いのものも珍しくないというが、金額は最大でも50%程度のように、多くのスポーツ契約料など

ら10年間の支払いに、貨幣価値の下落が見込まれる中、破格の無利子契約といつから驚く。大谷は全員で「いま受け取れる額を我慢してペイオフ契約総額に柔軟性を持たせられれば」と後払い提案の狙いを説明した。浮いた分を他の有力選手獲得に融通できる。自ら入団交渉に同席して誘った山本の12年間・3億25

00万ドル(約460億円)に及ぶ大契約も、本人および球団の双方にとって「大谷マネーの恩恵」といえることになろうか。一見、良いところづくめだが、その単純ではない事情がある。各球団の総年俸額について大リーグが設けている上限規定の存在だ。特定の金満球団が幅を利かせる

のを防ぐため、30球団の戦力均衡を促すのが目的。年ごとに定める規定額、来季は総額2億3700万ドル(約306億円)を超えた球団は、「ゼイタク税」と呼ばれる課徴金を大リーグ機構に納める義務がある。初年度で超過額の20%、次年度は30%というから手厳しい。こうして見ると、「大谷の97%」は特定球団の戦力偏重に歯止めを

大谷翔平選手(29)に次いで山本由伸投手(28)も大リーグ・ドジャース入り。花形役者の超高額契約そのい踏みとあって、年の瀬の祝賀ムードが止まらない。絶大な評価はうなずけるが、大谷が申し出

リース優勝してドジャースの世界に貢献したい。20分間の会見では大谷の「途な思いがほとんどばつた。見方を変えれば、エンゼルスでの6年間でレギュレーションを勝ち抜けば、最高峰のワールドシリーズどころかポストシーズンに進出さえ一度も体験できなかった悔しさがにじんだ。

による年収が5000万ドル(約71億円)近いとされる大谷だからこそ可能な手法。ところが、100%後払いだと大リーグで保障された最低年俸額の200万ドルに抵触するかわり、総額の30%分、さつと3億円の年収で暮らしていた。97%分の6億8000万ドル(約806億円)は、2034年か

00万ドル(約460億円)に及ぶ大契約も、本人および球団の双方にとって「大谷マネーの恩恵」といえることになろうか。一見、良いところづくめだが、その単純ではない事情がある。各球団の総年俸額について大リーグが設けている上限規定の存在だ。特定の金満球団が幅を利かせる

かけた基本理念にもとる「抜け道」と言つてよいと思う。大谷は会見で「後払いのパーセントは選手に任ざれている」と強調した。労使協定の中で割合についての決まりはないから合法的と主張したいのだろう。だが、規定の趣旨に照らすと、勝利を渴望するあまり、前のめりの勇み足、と私には見えてくる。さらに言えば、大谷への巨額な支払いが始まる2034年以降、ドジャースの懐具合に及ぶ多大な制約を、どう見たらよいか。今回の大谷契約には他球団などからも疑問符が浮上っていて、次の労使協定更新で見直すべきだとする声も出始めているという。今や大リーグ・ナンパワードの山本。自ら望んだ契約内容は「自分たちさえ良ければいいのか」という受け止めにつながってしまわないか。気がかりだ。(スポーツジャーナリスト)



### ラッキーナンバー・ニコニコBOX・出席報告

- ラッキー No.88 小野繁男会員
- ニコニコBOX 52,000円
- 出席報告  
会員数 50名 出席 27名 欠席 23名  
出席率 55.1% 前々回訂正 65.3%

ニコニコするメッセージをお寄せ下さい

今週のプログラム 4月7日(月) PM0:30  
マリオ/クラブ協議会 地区研修・協議会報告

次週のプログラム 4月14日(月) PM0:30  
マリオ/卓話 職業分類・会員選考